

2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月14日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
コード番号 3181 URL <https://okoku.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 嶋本 匡能
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営戦略本部長（氏名） 山田 憲之（TEL）052-304-7851
半期報告書提出予定日 2026年10月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有（当社のホームページに掲載します）
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	4,811	9.5	289	63.0	306	54.5	219	70.7
2026年2月期中間期	4,394	25.5	177	△7.9	198	△1.1	128	△15.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	59.95	—
2026年2月期中間期	35.25	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期中間期	6,295	3,608	57.3	978.96
2026年2月期	5,957	3,400	57.1	928.88

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 3,608百万円 2026年2月期 3,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	11.00	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,012	7.3	600	18.5	610	11.8	403	12.6	110.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	3,706,650株	2026年2月期	3,680,950株
2027年2月期中間期	21,013株	2026年2月期	19,993株
2027年2月期中間期	3,667,716株	2026年2月期中間期	3,653,652株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(収益認識関係)	8
(セグメント情報)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや原材料・エネルギー価格の動向、海外経済の減速懸念など、景気の先行きには引き続き留意が必要な状況が続いております。

リユース小売業界におきましては、人件費や金利の上昇といった厳しい経営環境が続くものの、生活防衛意識の高まりや循環経済への関心拡大を背景に、市場規模は拡大基調にあります。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

出店戦略では、建物の賃貸借契約満了に伴い、6月におたから買取王国イオンタウン本巣店を閉店、本部の管理負荷や運営コストの削減を図るとともに、経営資源を成長領域へより効果的に配分できる体制を構築するため、8月に工具買取王国京都八幡1号店をフランチャイズ店舗へ移行いたしました。一方で、新規出店については当初計画に沿って着実に展開し、6月に工具買取王国浜松幸店、7月に工具買取王国富田林170号店をオープンいたしました。第3四半期以降も計画通りに出店できる見込みです。

商品政策については、多様な調達ルート強化や全体的な調達力の向上を継続的に推進するとともに、専門店業態の開発を今後も進めてまいります。10月には、買取王国小牧店の中にトレーディングカード専門店をオープンする予定です。

また、新業態の古着専門店「KOV（買取王国ヴィンテージ）」は希少価値の高いヴィンテージアイテムを揃える店舗として注目を集めており、2026年11月29日には3回目の「KOV VINTAGE MARKET」を開催、東海エリア屈指のヴィンテージイベントとして多くのお客様にタイムレスな価値を提供いたします。

当中間期の売上高は主要商材であるファッション・ホビー・工具の販売が順調に推移し、前年同期を大きく上回りました。

利益ベースについては、一般経費のコスト削減などにより、営業利益・経常利益ともに前年同期を大きく上回りました。特別損益では、営業権譲渡による特別利益を21百万円計上しております。

下期においても、計画に沿った収益改善と投資効果の実現により、通期での利益水準は予想通りの着地を見込んでおります。

以上の結果から、当中間会計期間の売上高は4,811百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は289百万円（同63.0%増）、経常利益は306百万円（同54.5%増）、中間純利益は219百万円（同70.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて387百万円増加し、4,397百万円となりました。これは、商品が193百万円、現金及び預金が116百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて48百万円減少し、1,898百万円となりました。これは、有形固定資産が10百万円増加した一方、無形固定資産が0百万円、投資その他の資産が58百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ338百万円増加し6,295百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて84百万円増加し、1,326百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が76百万円、買掛金が6百万円増加した一方、その他の債務が19百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて46百万円増加し、1,360百万円となりました。これは、長期借入金が37百万円、退職給付引当金が3百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ130百万円増加し2,687百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて207百万円増加し、3,608百万円となりました。これは、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が12百万円、資本剰余金が12百万円、中間純利益により利益剰余金が219百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が36百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末と比べて116百万円増加し、1,530百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は19百万円(前年同期は16百万円の収入)となりました。これは主に、税引前中間純利益327百万円、減価償却費70百万円の計上により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額193百万円、法人税等の支払額101百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は19百万円(前年同期は25百万円の支出)となりました。これは主に、有価証券の償還による収入100百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出65百万円、無形固定資産の取得による支出8百万円、差入保証金の差入による支出25百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は78百万円(前年同期は135百万円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入450百万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出335百万円、配当金の支払額36百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間の営業利益につきましては、業績予想とほぼ同水準で着地しており、季節要因も概ね想定通りに推移いたしました。

2026年4月14日に公表いたしました通期業績予想につきましては、現時点で修正の必要はないと判断しております。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当中間会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,413,462	1,530,251
売掛金	354,843	445,061
有価証券	50,000	50,000
商品	2,046,021	2,239,090
その他	145,852	132,797
流動資産合計	4,010,181	4,397,200
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	259,506	282,729
土地	651,832	651,832
その他(純額)	162,581	149,944
有形固定資産合計	1,073,920	1,084,505
無形固定資産	86,735	86,019
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	-
関係会社株式	27,676	27,676
差入保証金	417,101	437,913
その他	241,511	262,197
投資その他の資産合計	786,288	727,786
固定資産合計	1,946,944	1,898,311
資産合計	5,957,125	6,295,512
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,010	25,913
1年内返済予定の長期借入金	537,552	614,245
未払法人税等	101,307	107,060
賞与引当金	18,452	23,500
ポイント引当金	47,337	51,907
契約負債	27,118	32,106
その他	491,173	472,104
流動負債合計	1,241,952	1,326,838
固定負債		
長期借入金	1,109,040	1,147,007
退職給付引当金	48,900	52,500
資産除去債務	130,901	131,188
その他	25,713	29,873
固定負債合計	1,314,555	1,360,569
負債合計	2,556,508	2,687,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,892	78,997
資本剰余金	622,067	634,172
利益剰余金	2,711,804	2,895,081
自己株式	△147	△147
株主資本合計	3,400,617	3,608,104
純資産合計	3,400,617	3,608,104
負債純資産合計	5,957,125	6,295,512

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	4,394,860	4,811,637
売上原価	2,071,185	2,235,395
売上総利益	2,323,675	2,576,242
販売費及び一般管理費	2,145,798	2,286,265
営業利益	177,876	289,976
営業外収益		
受取利息	10,693	3,537
受取手数料	9,161	8,236
設備賃貸収入	16,683	22,781
その他	7,441	9,017
営業外収益合計	43,979	43,572
営業外費用		
支払利息	4,882	9,688
設備賃貸原価	12,759	15,414
為替差損	3,170	-
その他	2,688	1,910
営業外費用合計	23,500	27,013
経常利益	198,355	306,536
特別利益		
営業権譲渡益	-	21,066
特別利益合計	-	21,066
特別損失		
資産除去債務履行差額	3,238	-
減損損失	4,103	-
特別損失合計	7,341	-
税引前中間純利益	191,014	327,603
法人税等	62,194	107,715
中間純利益	128,819	219,887

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	191,014	327,603
減価償却費	68,724	70,179
減損損失	4,103	-
資産除去債務履行差額(△は益)	3,238	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,277	5,048
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,200	3,600
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15,248	4,570
契約負債の増減額(△は減少)	6,243	4,987
受取利息及び受取配当金	△10,694	△3,537
営業権譲渡損益(△は益)	-	△21,066
支払利息	4,882	9,688
為替差損益(△は益)	3,170	△752
売上債権の増減額(△は増加)	△49,518	△90,217
棚卸資産の増減額(△は増加)	△223,463	△193,069
仕入債務の増減額(△は減少)	8,149	6,902
未払金の増減額(△は減少)	△1,144	△12,838
その他	58,173	13,860
小計	85,605	124,959
利息及び配当金の受取額	12,846	4,399
利息の支払額	△4,834	△9,126
保険金の受取額	565	1,104
法人税等の支払額	△77,510	△101,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,672	19,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	153,670	-
有形固定資産の取得による支出	△70,173	△65,823
無形固定資産の取得による支出	△66,358	△8,720
有価証券の償還による収入	-	100,000
資産除去債務の履行による支出	△5,440	-
営業権譲渡による収入	-	21,066
差入保証金の差入による支出	△18,884	△25,589
差入保証金の返還による収入	13,000	607
保険積立金の積立による支出	△2,782	△2,176
その他	△28,795	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,762	19,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△228,298	△335,339
自己株式の取得による支出	△37	-
配当金の支払額	△36,508	△36,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,154	78,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,064	116,788
現金及び現金同等物の期首残高	932,359	1,413,462
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,058,423	1,530,251

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

項目	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

品目別販売実績

単位：千円

品目	前中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
ファッション	1,769,856	1,890,370
工具	940,008	1,053,273
ホビー	731,134	818,897
ブランド	416,491	425,115
トレカ	105,683	126,955
その他	431,686	497,025
合 計	4,394,860	4,811,637

各品目の主な内容は以下のとおりです。

品目	主な内容
ファッション	一般衣料、靴、服飾雑貨品、腕時計等
工具	電動工具、エア工具、エンジン工具、油圧工具、ハンドツール等
ホビー	食玩、ジャパントイ(注)、各種フィギュア、プラモデル、ミニカー、モデルガン、楽器、スポーツ用品、釣具等
ブランド	ブランド商品(バッグ、時計を含む)、宝石、貴金属製品及び地金
トレカ	トレーディングカード等
その他	ゲームソフト、生活用品、携帯電話、家具、金券、酒、その他

(注) ジャパントイとは、日本のアニメキャラクター玩具や特撮ヒーロー玩具等、日本企画のおもちゃを総称したものであります。

(セグメント情報)

前中間会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

当社は、総合リユース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

当社は、総合リユース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。